

研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/



手軽に身近に行える遠隔学習とは・・・。
タブレット端末等を活用して事業や授業の充実を！

◆◆平成26年度遠隔学習プログラム研修講座終了◆◆

＜研修テーマ＞

「いつでも・どこでも学べる環境づくりの構築を目指して」

平成26年10月24日（金）に道民活動センタービル「かでる2・7」を会場に、平成26年度遠隔学習プログラム研修講座を開催しました。30名の定員に対し、教職員、社会教育関係職員、民間団体（NPO等）関係者34名が参加し、「遠隔学習による学習機会の提供の在り方」について学びました。本号ではその研修内容のポイントを紹介します。

■ 研修テーマと研修の流れについて ■

いつでも・どこでも学べる環境づくりの構築

〔国の動向〕

第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理
情報通信技術の進展に伴い、ICTの活用が日常生活に浸透する中で、地理的・時間的制約を超えるとともに双方向性の特長を有するICTを効果的に活用した学習（eラーニング）を推進することが有効である。

〔道の動向〕

第2次北海道生涯学習推進基本構想
ICTを活用した遠隔学習による生涯学習の支援など、他に類を見ない広大な面積を有する北海道独自の生涯学習システムすなわち「生涯学習における北海道のスタンダード」の構築を進めることが必要である。

「北海道教育推進計画（第4次北海道教育長期総合計画）」（平成25年～29年）

■ 広域性に対応した学習環境の充実

地域で生涯学習にICTを活用できるよう、地域で活動している「中間支援人材」の研修機会を提供

講義

「生涯学習における遠隔学習の可能性～e-Learningで変わる学びのプロセス～」
講師：山本 強氏（北海道大学情報科学研究科教授）

演習・グループワーク

「タブレット端末を活用した遠隔学習の手法」

- e-Learningは今が旬
 - ・ブロードバンドネットワークの整備でe-Learningの環境が整ってきた
 - ・タブレット端末等が高機能で低価格化
 - 学習者から見るe-Learning
 - ・新しい情報、技術を得たい
 - ・資格や単位が欲しい
 - e-Learningコンテンツ開発の実際
 - ・著作権管理が問題
 - ・編集がポイント
- ビデオ収録しただけでコンテンツになるわけではない

- テキスト、補助教材等のリンクが必要
- ・開発されたコンテンツの評価（高品質な映像、制作コスト、意見交換等の双方向性機能等）
- e-Learningの新しい動き
 - ・反転学習
- 学生はe-Learningで講義を受講し、内容を理解している前提で教室において対話的な授業を実施
- ・教師の知識や能力を最大に発揮し、予習の目的を明確化する

（講義資料から抜粋）

参加者の声（事業アンケートから）

・e-Learningをどう用いるべきか。既存の教育の在り方にとらわれずにアイデア次第でもっと面白くできそうだと感じた。
・遠隔学習は講義や実技の動画ばかりとイメージしていたが、PDFやパワーポイントもあり得るのだと知った。

講義
「生涯学習における遠隔学習の可能性～e-Learningで変わる学びのプロセス～」

演習・グループワーク
「タブレット端末を活用した遠隔学習の手法」
講師：小賀 朋加 氏（株式会社ラプト代表取締役・札幌大学非常勤講師）

「誰でも楽しんでできる」「使ってみたら簡単！」
タブレット端末を活用した遠隔学習の手法を学ぶ

＜説明＞
① タブレットや Web を使った事例

＜演習1＞
② タブレットを操作してみよう（写真・動画撮影）

＜演習2（グループワーク）＞
③ 動画をアップ！（YouTube）



＜説明＞ ◆タブレットや Web を使った事例の紹介◆

- 例えば、ipad アプリ「センター満点」といものがある。「大学入試センター試験」の英語の問題を予備校講師が解説している。予備校に来ることができる学生とそうでない学生の格差をなくすることができる。一斉配信だけが目的ではなく、色々な条件をクリアするために遠隔学習というものがある。
- 遠隔学習というと動画の配信というイメージがあるが、これにこだわることはなく、PDF やスライド等を配信することも遠隔学習である。専用ソフトを使用すると自動でスライドショーのように配信することができる。
- 遠隔学習を配信するためのシステムを構築するにはかなりの費用がかかる。無料で動画を配信する手段はある。（「YouTube」や「iTunes U」等）
- 「何をを使うか」より「何を作るか」「何を配信するか」。そのために必要なツールは何かを模索することが大切である。その目的を達成するためには、場合によっては、有料のソフトや有料の“人”を使うことも必要となる。
- 著作権や配信内容の正誤の確認も大切になってくる。



＜演習1＞ ◆タブレットを操作してみよう！（写真撮影・動画撮影）◆

- ① 写真を撮影～コツは、寄って撮る。後ほど、トリミングが可能なのでたくさん撮る。
- ② 写真編集（回転、トリミング、赤目補正、アスペクト比の変更）
- ③ 動画撮影～映像は横向き、挿入する写真も横向き撮影がベター
- ④ 「iMovie」を使って動画編集

この状態でも「YouTube」にアップできるが、今回は動画編集にチャレンジ！

＜演習2＞ ◆グループで作品づくり（テーマを設定して動画撮影）◆

- ① グループ内で役割分担（シナリオを考える人、タブレットの操作をする人等）
- ② 撮影・編集
→タブレットは手軽に撮影できるが、編集には適していないので、簡単な編集で構わない。



参加者の声（事業アンケートから）

- ・楽しく操作法を覚えられただけでなく、有効性を見出すことができた。
- ・タブレット端末の基本的な使い方がよく分かった。有料でダウンロードしなくても十分に活用できることがわかった。
- ・「YouTube」の活用は、学習コンテンツの発信等のために学びたいと思っていたので充実した内容だった。

＜実技2＞ ◇You Tubeへアップ！（動画配信サイトへ）

※ 現在は、You Tube では、視聴できません。

◎研修のご案内◎
生涯学習推進基本講座【道央会場】（生涯学習推進の基礎的な知識や技術の習得）
平成27年1月22日（木）～23日（金） 芦別市



●本研修会事業報告書について●
「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>）並びに「平成26年度主催講座一覧」（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyoh26/index.html>）に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：本田 ☎ 011-231-4111（内線 36-324）まで御連絡ください。